

インターネットのこと、 大人は子どもには かなわない？

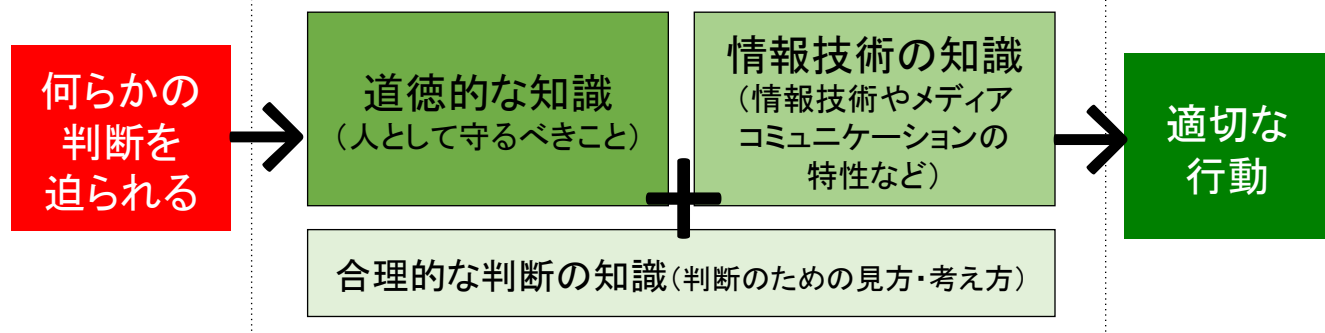


「インターネットの利用に何となく自信が持てない」という大人は少なくありません。それに比べて子どもたちは、新しいサービスを次々と利用している…。でも、インターネットの安全な利用について、本当に「大人は子どもにはかなわない」のでしょうか？

安全な利用を支える「道徳」と「合理的判断の力」

人として守るべき節度・思慮・思いやり、そして合理的な判断力は、インターネットを使うときにも求められます。子どもたちよりも社会経験の豊富な大人の方が得意な分野です。

《適切な判断を支える三種の知識》



※「三種の知識による情報モラル判断」(玉田ら、2004)からピットクルー作成

大人が苦手な思いがちな情報技術の知識

一方、インターネットならではの知識も必要です。

この分野については、変化が早くて追いつけないと諦めてしまう大人が少なくありませんが、実際には、不変の部分がほとんどです。中でも重要な「公開される」「取り消せない」「信ぴょう性の判断が難しい」「非対面コミュニケーションが前提になる」などについて、来月から本資料で順次ご紹介します。

ご家庭での対応

日進月歩の情報機器の操作や人気サービスの知識で、保護者が子どもたちを上回り続けるには、大変な努力が必要です。しかしそれらは、情報技術の知識の中でもほんのわずかな領域に過ぎません。インターネットの安全な利用においては、経験に裏付けられた、社会の仕組みや人間についての理解、また情報技術の特性の中でも、不変の部分についての理解こそが大切です。

ご家庭でお子さんのインターネット利用の仕方が気になる時は、頭ごなしに叱るのではなく、まず、三種の知識のどの部分の理解が不足しているのかを考えるとところから始めてみましょう。